

社 会 (公民的分野)

東 京 書 籍

教 育 出 版

帝 国 書 院

日 本 文 教 出 版

自 由 社

育 鵬 社

| <div style="text-align: right;">発行者名</div><br>採択基準  | <div style="text-align: center;">東京書籍（新しい社会 公民）</div>  |
|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習得すべき知識や概念、技能を、具体的な社会的事象や多様な資料の活用を通して身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 現代社会が抱える課題について考察し、多面的な思考力や公正な判断力、豊かな表現力が養われるよう配慮されている。</li> <li>・ 持続可能な社会の実現に向けてできることを考えることで、社会に参画する力を育成できるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページで授業1時間を原則とし、社会的事象の因果関係を捉えやすくする平易で具体的な記述を用いたり、資料を大きく掲載したりすることで視覚的に捉えやすくなるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「導入の資料」では、生徒にとって身近な問題や漫画等を用いる事で興味・関心を引き出す工夫がされている。また、学習課題は生徒が主体的に学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>(3) 単元のまとまりを重視した構成となっており、導入では「単元全体を貫く探究課題」を設定し、単元の終末では導入活動とリンクしたまとめ活動ができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「見方・考え方」を働かせる活動をページ上部に印で明示するとともに、学習の過程の各所に「見方・考え方」コーナーを設け、学びを深められるよう配慮されている。</li> <li>(5) 資料掲載部分の背景に色を付けて本文部分との区別を明確にしたり、資料に付した図番号を本文にも付け本文を補完したりすることで、学習効果を高めるよう配慮されている。</li> </ol>   |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br><br>〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校や地理・歴史分野の学習の成果を生かし、既習内容や3分野を関連させた展開ができるよう配慮されている。</li> <li>(2) 単元全体を貫く「探究課題」を立てる導入活動から、1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める追究へと、問いを軸にして単元を構造化できるよう構成されている。</li> <li>(3) 各見開きページの「チェック」では基礎基本を確認し、「トライ」では、要約や説明をする言語活動を充実させるよう配慮されており、学習内容が確実に定着するよう配慮されている。</li> <li>(4) 環境・エネルギー、人権・平和、防災・安全など5つのテーマを設け、具体的な事象を取り上げることで、現代社会が抱える課題を理解し、解決しようとする態度を育てられるよう配慮されている。</li> <li>(5) ICT機器を活用して利用できるコンテンツが用意され、該当箇所に「Dマーク」を付し、学習効果が高まるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各章の最後に、模式図などを使って学習内容を整理する「まとめの活動」や「基礎・基本のまとめ」を設け、学習のまとめと定着を確認できるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決的な単元構成により、社会的な見方・考え方を働かせ、今日的な課題の解決に向け学習できるよう配慮されている。</li> <li>・ 対話的な学習場面を豊富に取り入れ、他者と協働し、よりよい社会を築こうとする意識と態度が養えるよう工夫されている。</li> </ul>   |

| 発行者名<br>採択基準  | 教育出版（中学社会 公民 とともに生きる）  |
|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見開きページごとの「確認」や本文内の「公民の技」のコーナーを設け、学習事項の定着が図られるよう配慮されている。</li> <li>・ 資料を基に議論や論述など言語活動に取り組む中で、思考力・判断力・表現力等を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>・ 今日的な課題が反映された事象を取り上げ、課題解決に取り組むことで社会の一員としての自覚を高められるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業の展開や学習の見通しがつかみやすいように授業1時間を見開き2ページで構成し、各単元の扱いに軽重を付けることにより、生徒の実態に合った学習を展開できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 学習の意義や学び方、視点となるSDGsについて紹介するページや人々の様々な活動場面の写真を掲載し、身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「確認／表現」のコーナーでは、「確かめよう」や「話し合おう」といった課題を設定し、自ら考え、自分の意見が他者との交流を経て深まっていくよう工夫されている。</li> <li>(4) 各章のはじめに章ごとの「学習の『見方・考え方』」を提示するコーナーを設け、「見×考」マークを設置することで、働かせるべき視点や考え方が分かるよう配慮されている。</li> <li>(5) 文字についてはユニバーサルデザインフォントによる黒文字を基本とし、資料についても区別しやすい配色や形などを用い、判読しやすいよう配慮されている。</li> </ol>  |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 政治と経済の領域を各二つに分けるとともに、節の区分とタイトルから内容のまとまりをとらえやすいよう配慮されている。</li> <li>(2) 単元を見通す導入や毎時間の見開きページに「学習課題」を明示し、学習の最後に「学習のまとめと表現」や「確認／表現」を設け、問いを基に学習を振り返ることができるよう構成されている。</li> <li>(3) 2種類の特設ページを設け、議論や論述などの言語活動に取り組む中で多様な考えを交流することができ、「さらにステップアップ」のコーナーを用いることで、考察が深まるよう配慮されている。</li> <li>(4) 身近な地域や伝統文化、SDGs、領域をめぐる内容などについて、人々の姿や営みなど具体的な事例を取り上げることで、自分の生活と関連付けて考えることができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 巻頭に現代史の年表を設けることで、歴史分野との接続を図りつつ学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各章の終わりの「学習のまとめと表現」では、基礎、基本の定着を図るとともに、思考ツールなど資料を活用して課題に取り組むことで章全体の学習を整理できるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGsの視点や、小学校、他分野、他教科との関連を示すマークを付け、学習の連携や振り返りが図れるよう工夫されている。</li> <li>・ グループによる学習活動が各所に位置付けられ、新たな知識の習得や生徒の学習意欲を向上させられるよう配慮されている。</li> </ul>   |

| <div style="text-align: right;">発行者名</div> <div style="text-align: left;">採択基準</div>  | 帝国書院（中学生の公民 よりよい社会を目指して）  |
|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に興味をもたせるような工夫が見られ、人々の声や取組、議論を整理する方法が掲載され、知識及び技能の習得がなされるよう配慮されている。</li> <li>・導入の工夫や連続的な問い、見通しや振り返りの活動を通して、多面的・多角的な考察、選択・判断がなされるよう配慮されている。</li> <li>・現代社会の課題を多く扱い、生徒が主体的に社会参画をしようとする意識を高められるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 〕  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1時間の学習内容を見開き2ページで構成し、小学校での内容や地理や歴史との関連を左下に表示し、最後に「確認しよう」「説明しよう」の項目を設けて、知識の確実な習得や、言語活動の充実が図られるよう配慮されている。</li> <li>(2) 章や節のはじめに「問い」が設定されており、見通しをもった学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>(3) 「Yes No」では防犯カメラの設置の可否について考えさせるなど現代社会で議論されているテーマについて多面的・多角的な考察を促すように工夫されている。</li> <li>(4) イラストや資料の読み取り作業を通して自らの考えを整理し、「アクティブ公民」では、問題が起こっている当事者に自らを置き換える事で、思考力・判断力を養う事ができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 全ての生徒にとって読みやすい表記がなされ、文字はユニバーサルデザインフォントを用い、資料は色に配慮するとともに境界線を黒く囲って見やすくなるよう配慮されている。</li> </ol>   |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br><br>〔 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 〕 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎的・基本的な内容を習得した上で、未来に向けて、社会参画を促すよう配慮されている。</li> <li>(2) 本時の学習課題が「節の問い」に対応した内容となっているため、学習内容を見通しながら授業を進められるよう配慮されている。</li> <li>(3) 全編を通じて、社会的な見方・考え方を働かせられるよう工夫され、章の振り返りでは「確認しよう」で知識の確実な習得を、「説明しよう」では思考力・判断力・表現力を育むよう配慮されている。</li> <li>(4) 「未来に向けて」などでは、「グローバル化」「少子高齢化」などこれからの社会が直面する課題を多く扱い、写真やグラフから社会の課題に気づき、SDGsの意義の理解を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 写真、さし絵、統計資料などをバランスよく配置し、動画などにつながるコンテンツから資料を活用できるよう工夫されている。</li> <li>(6) 「章の学習を振り返ろう」では、学習事項を確認し、章の問いへの答えを自分の言葉で表現できるようにし、第4部では社会科全体の学習のまとめをレポート形式で作成できるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会に基づいた事例を具体的に掲載し、導入や問い、単元展開を工夫して、主体的に学べるよう配慮されている。</li> <li>・導入の工夫により、多面的・多角的な考察や構想、社会に見られる課題の解決に向けて取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>  |

| 採択基準<br>発行者名  | 日本文教出版（中学社会 公民的分野）  |
|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近で話題性のある事例や、幅広い視野の教材を掲載し、「情報スキルアップ」では技能の習得ができるよう配慮されている。</li> <li>・ 社会的な見方・考え方を働かせやすい学習活動を設け、持続可能な社会の実現に向けて考察できるよう配慮されている。</li> <li>・ 将来に生かし、よりよい社会生活を営むための教材や学習活動を通して、社会参画の意識を高められるよう配慮されている。</li> </ul>   |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページに1時間の授業内容を簡潔にまとめ、地理や歴史で学んだことを関連させるコーナーを設け、最後の「確認」では、学習内容や考察したことを説明できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 各編冒頭の「学習の始めに」の漫画や「明日に向かって」で身近な例を提示して関心を喚起し、本文では「アクティビティ」「公民＋α」のコーナーを設けて、学びを深められるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「シンキングツール」を随所で紹介し、編末には「チャレンジ公民」のコーナーを設けて課題を提示し、自ら問題を発見し解決する能力を養えるよう工夫されている。</li> <li>(4) 導入で「見方・考え方」を示した上で問いを提示し、メディアリテラシーや時事問題について考えるコーナーを設け、社会的な見方・考え方を働かせられるよう配慮されている。</li> <li>(5) 点字加工のページを設け、本文ではユニバーサルデザインフォントを使用し、重要語句にはルビをふり、配色も全ての生徒にとって見やすくなるよう配慮されている。</li> </ol>                              |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 巻頭にSDGsを示し、関連内容を全体に通して登場させ、持続可能な社会の形成に関わる意識を育めるよう配慮されている。</li> <li>(2) 学習課題を基に社会的な見方・考え方を働かせ、編末の発展課題で既習事項を活用して現代社会の課題について考え、社会参画の態度を養えるよう構成されている。</li> <li>(3) 各編特有の「見方・考え方」を一覧で示し、それらを働かせられるよう工夫され、「アクティビティ」では資料を基に追究するグループ活動を促せるよう配慮されている。</li> <li>(4) SDGsをはじめ、法教育・主権者教育・消費者教育・キャリア教育・金融教育など様々な教材や課題を提示し、主体的に社会に関わる力を育成できるよう配慮されている。</li> <li>(5) 抽象的な事象を具体的にイメージできる図版や、主な法令の内容を掲載し、指導の展開に生かせるよう工夫されている。</li> <li>(6) 章の終わりには「学習の整理と活用」で学習事項を確認できるようになっており、第5編では、レポート作成の要点や評価の視点が例を示すことで明確になるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会参画に関わる教材が充実し、現代社会の諸課題に対して関心や追究する力を育てられるよう工夫されている。</li> <li>・ 多面的・多角的に考察、構想する学習を行い、思考力・判断力・表現力等を身に付けることができるよう配慮されている。</li> <li>・ 見方・考え方が示してあり、課題をとらえやすい。</li> </ul>   |

| 発行者名<br>採択基準  | 自由社（新しい公民教科書）   |
|---|---|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要な知識や技能について複数の単元で繰り返し学習し、段階的に習得することができるよう配慮されている。</li> <li>・ 話し合いや文章にまとめる活動を設定し、各単元の学習に対する考えをさらに深め、表現力を養えるよう配慮されている。</li> <li>・ 日本の伝統や平和などを詳しく扱う特設コーナーを設け、課題を主体的に解決しようとする態度が養われるよう配慮されている。</li> </ul>   |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き2ページの文章は、内容をコンパクトに整理してまとめており、基礎的・基本的な学習内容を捉えやすくしている。</li> <li>(2) 見開き2ページの上部にある資料を、大きく順序よく配列し、学習課題を捉えたり、解決したりするための根拠となるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「やってみよう」のコーナーで、学んだことを基に話し合ったり、書き出したりする活動を取り入れ、現代社会の課題や特色に対して主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「もっと知りたい」のページで、独自の資料を扱い、社会的な見方・考え方を働かせて学びを深めたりすることで、現代社会との関わり方を考えられるよう配慮されている。</li> <li>(5) 見開き2ページの上部にある写真やグラフを、大きくしたり、色分けしたりして、資料を活用する際に確認しやすいよう配慮されている。</li> </ol>   |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎的事項を厳選し体系的に整理することで、単元構成が分かりやすくなるよう配慮されている。</li> <li>(2) 各章で学習したことを「学習のまとめと発展」で整理し、3つの問題に取り組むことで、順序よく学習内容を理解できるよう構成されている。</li> <li>(3) 「アクティブに深めよう」で、学習したことを基に話し合ったり、文章に表現したりすることを通して、社会的事象の特色や関連、意味を深く考えられるよう配慮されている。</li> <li>(4) 「もっと知りたい」のページで、安全保障や裁判員制度などいくつかの社会的事象を取り上げ、生徒自身が現代社会の課題にどう向き合っていくのかを考えられるよう配慮されている。</li> <li>(5) 「ミニ知識」のコーナーで、学習内容を補足する資料を提示し、学習課題の把握や解決の手がかりが多くなるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各項の最後の「ここがポイント」に、1時間の学習内容を箇条書きし、授業の振り返りをする際にまとめやすくなるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元のまとめに、学習内容を100字～400字で説明する活動を設け、学びを深められるよう工夫されている。</li> <li>・ 現代社会の課題解決に向けて、考察する特設ページを設け、主体的に社会に関わろうとするよう配慮されている。</li> </ul>  |

| 発行者名<br>採択基準  | 育鵬社（新しいみんなの公民）   |
|---|--|
| 1 教科の目標からの配慮  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会の形成に向けて、必要な知識や技能の習得につながる学習内容になるよう配慮されている。</li> <li>・ 社会の諸問題を自分と関連付けて考えていくために、生徒が生活目線で考え、判断し、学びを深められるよう配慮されている。</li> <li>・ 豊富な言語活動を設け、生徒が主体的に社会形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。</li> </ul>  |
| 2 生徒の学習活動への配慮<br>○内容の程度<br>○学習活動への誘意性<br><br>〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕  | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習課題をつかむ・調べる・まとめるための資料を見開き2ページにまとめ、1時間で資料を使って課題解決できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 各章の最初に「入り口」、最後に「これから」というページを設け、各章で学ぶことを自分の生活と関連付けて考えられるよう工夫されている。</li> <li>(3) 「入り口」「これから」「やってみよう」のページで、考えたり、話し合ったりする活動を通して、主体的・対話的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>(4) 「やってみよう」「学習を深めよう」で具体性や発展性をもたせることで、社会的な見方・考え方を働かせ、学びが深まるよう配慮されている。</li> <li>(5) 見開きの最初にカラーのイラストを使ったり、図版資料に通し番号を付けたりすることで、必要な資料を確認しやすいよう配慮されている。</li> </ol>  |
| 3 学習指導への配慮<br>○単元・題材の配列<br>○内容の扱い<br>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 身近な社会的事象を各章でバランスよく取り上げ、自分の生活と関連付けて考えられるよう配慮されている。</li> <li>(2) 「入り口」のページに、なぜ学ぶのか、何を学んだり考えたりするのかをまとめたり、歴史や地理とのつながりを明記したりすることで、主体的に学習できるよう構成されている。</li> <li>(3) 「やってみよう」のページで前項までに学習したことを参考に小集団による話し合いやシミュレーションなどを掲載し、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 様々な社会的事象を取り上げ、話し合ったり、構想したりする活動を通して、社会と自分の接点に気付き、自ら現代社会の課題に向き合っていくことができるよう配慮されている。</li> <li>(5) 図版資料に通し番号をつけたり、語句の説明を簡潔にまとめたりして、指導する際に示しやすくなるよう工夫されている。</li> <li>(6) 各章の最後に「学習のまとめ」を設定し、授業で学んだことを生かして話し合ったり、まとめたりする活動を通して、学びを振り返り、思考力・判断力・表現力等が高まるよう工夫されている。</li> </ol> |
| 4 全体的な特色  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活目線で考えていくための導入とまとめを設定し、言語活動を通して公民としての資質・能力を養えるよう工夫されている。</li> <li>・ 新聞記事、写真、グラフなどを基に、「つかむ、調べる、まとめる」の課題解決的な学習となるよう配慮されている。</li> </ul>   |